

第二世と其の環境

—在米同胞の社會學的考察—

加藤鈴之介

【十三】
第二世の行方もきた、人間歴史の果てしなき潮流に浮かぶ定めたるの果ての本の葉にして、知らざる世界を開拓しつゝ進むべならぬの道を歩む地の苦闘に満ちる運命の道を歩む地の苦闘には、同胞第二世の苦惱のみではなく、さく一片の木の葉にして、知らざる世界を開拓しつゝ進むべならぬの道を歩む地の苦闘に満ちる運命の道を歩む地の苦闘には、

ユダヤ民族は永遠の懲罰の下に迫り、米國の有する民主主義に追及する地の懲罰をして、知らざる世界を開拓しつゝ進むべならぬの道を歩む地の苦闘には、

通じ追害抑壓の難の下に呻吟し乍ら、彼等の優秀なる精神的生活及經濟生活を樂まし大社會力をして居る反ダロは痛ましく奴

開である。現在のアーモンズは、その民族の歴史と社會的運動に参り、その民族の有する民主主義を追求して、知らざる世界を開拓しつゝ進むべならぬの道を歩む地の苦闘には、

人間半生春種を要求して、開拓する地の苦闘には、

迷盲のない白人種族越の防禦線に沿うる地の苦闘には、

過多な云う型のトヨトヨ引けで、人種の差異化を見ねば限らぬ地の苦闘には、

特種の統合的國家として、その民族の意識を構成する地の苦闘には、

この一大神話の運動に参り、その民族の子孫に生まれたる各自異なる民族の子孫に於いて、太陽の昇る地の苦闘には、

太陽の昇る地の苦闘には、

人種の差異化をして、地の苦闘には、

創造への過程にある事は必然であるが、その民族の文化が原始的に現れるべきである。地の苦闘には、

産業革命の時代的要求に追はれて移はれ来たる地の苦闘には、

その民族の子母なる大地は限りなき愛をもて、地の苦闘には、

生命を賦与しある事は、地の苦闘には、

地の苦闘には、

バイセリア同胞

フレスノ (二日)

大奮發

（六）

バイセリア同胞

学園寄附款好んで集め、決意

募集運動は、昨日も開始されタ

ウーン總出の努力で各地を勧説

した。第二世兒の教育のためなれ

ば、附近在留者一人も殊ず熱心

に賛意を表し、一日にして

四千五百ドルの應募があつた。

おもなる寄附人名は、

▲二百五十ドル

松屋義典、百弟

デラ・酒田口第一

等である。テラノは三四百ドル

の貢献を隠さない地

方なる右の如き寄附があつた。

方なる古賀三、小野寺の寄附者

は、高い寄附をせよとして二十五

万円の年俸をもつてゐる。稱せ

るトマソット、

の如きは、

四十萬円から二十五萬円の間であら

うといふ

メリツ氏所得税

額に少いではないか

五萬円の年俸をもつてゐる。稱せ

るトマソット、

の如きは、

四十萬円から二十五萬円の間であら

うといふ

メリツ氏所得税

額に少いではないか

五萬円の年

愛の勝利

小室孝雄画



新東京探見記

記者腕競

東京の新聞

[七]

三月

日

曜

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木

金

土

日

月

火

水

木